



くまがや

# 農委だより

No. 59

令和2年  
1月1日発行

熊谷市農業委員会 〒360-0292 埼玉県熊谷市弥藤吾2450番地（妻沼庁舎） E-mail:nogyo@city.kumagaya.lg.jp  
TEL 048-588-1321(代表) 内線 317、324/048-588-9985(直通)/FAX048-588-1326



## 三世代で農業を営む元気なご家族です

弥藤吾にお住まいの相川さん一家はもっばらネギを栽培する大きな野菜農家です。お父さんの相川榮三さん(86歳)ハル子さん(86歳)ご夫婦、子世代の太一さん(62歳)昌美さん(61歳)ご夫婦、孫世代の後継者の雄太さん(34歳)文香さん(32歳)、そしてひ孫の葉ちゃん(5歳)楽君(2歳)の8人を紹介します。

今後、雇用も積極的にとり入れ、作付の拡大、良品質生産および労働環境の向上を目指していきたいと熱く語っています。

# 年頭のあいさつ

★あけましておめでとうございます。



農業委員会会長  
木村 進

あけましておめでとうございます。皆様には新年を迎え、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃、農業委員会活動に深いご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

熊谷市農業委員会は一昨年9月に新体制となり、農地転用などの法手続き



熊谷市長  
富岡 清

あけましておめでとうございます。新年を迎え皆様には、益々御健勝のことと心からお慶び申し上げます。

昨年は秋の台風により各地で未曾有の災害が起き、熊谷市においても台風第19号来襲の際には50箇所を超える避難所を開設するなど、これまでを経験したことのない状況となりました。こ

とあわせ、農業委員と農地利用最適化推進委員が農地パトロールを実施し、新たな荒廃農地や荒廃化が解消された農地を調査し、貸付希望のある農地を借り受ける方に斡旋する仕事に取り組んでいます。今後、農地の貸し借りにつきましても農業委員会にお問い合わせいただけますようお願いいたします。

ここ数年、各地で水害により大きな被害が発生しています。気象の専門家によると、温暖化により赤道付近の海水温度が上昇し、蒸発した多くの水蒸気が台風や低気圧になり日本列島に運ばれ大雨を降らすという現象で、今後

の際、河川敷の土砂流失や稲わらの堆積など、その後の作付けに大きな影響を及ぼしました。

農業を取り巻く状況は、本市においても年々厳しくなっていますが、このような中始まったJAくまがやのアグリサポート事業と共同した「農地利用最適化推進事業」により、多くの農地が再生され始めています。また、人・農地プランの話し合いにより、多くの地区で農地中間管理事業の実施へと向かい、まとまったほ場での農業経営へと一歩を踏み出しました。

このような本市の農地に企業も注目

もこの状況が続くようであれば農産物の生産に悪影響を及ぼすことが懸念されます。大きな災害がないことを祈るばかりです。

農業者の高齢化や後継者不足がより一層進む中で、新規就農者の確保など農業委員会も一致協力し努力してまいりますので、今後も皆様方のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。結びに、新年が皆様にとってより良い一年となりますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

をしており、昨年は近隣市町の農業法人数社から大規模な借受け希望があり、多くの荒廃農地が再生されました。今後、様々な工夫により、これまでより一歩進んだ力強い本市農業の構築に向け、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

農家の皆様には、本市農業の発展と活性化のため、引き続き御協力を賜りたくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして輝かしい年となりますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

# 意見書を提出しました。

熊谷市農業委員会として、農地等の利用の最適化を効率的に実施するため、意見等を取りまとめ意見書を市長に提出しました。主なものについて掲載します。



## 1 遊休農地対策について

(1) 荒廃農地解消のための支援

荒廃農地解消の有効な手立てとなる「耕作放棄地解消対策事業」の補助額や新たな施策について検討されたい。

(2) 基盤整備事業の推進  
未整備地は荒廃農地の

原因の一つであるため、未整備地における地籍調査の実施と基盤整備の一層の推進を図るとともに、これら未整備地の中で、農地利用の改善を図るモデル事業等の実施を検討されたい。

## 2 担い手の育成・支援について

(1) 農家への支援

農業従事者の平均年齢が上がる中、高齢化した農家は、農業機械が高額なため、機械故障により更新することができず営農を断念する事例も多く見受けられるため、農業機械購入に対する補助制度等の要件の緩和・拡大や、中古農業機械の斡旋・販売・リースの体制整備等、営農を継続することができよう新たな施策について検討されたい。

(2) 退職就農者等への支援  
定年退職後の就農者は

増加傾向にあり、農業の担い手として有望である。そのため、退職後の就農者に対しても円滑に就農できるように特別の支援を検討されたい。また、農業法人等に就職した就農者への支援についても配慮されたい。

## 3 農地の有効利用の推進について

「人・農地プラン」の実質化  
人・農地プランの策定・実質化にあたっては、より実効性の高いものとするため、市が中心となり農業委員会、農協、土地改良区などで構成する推進チームなどの体制整備とその活動について支援されたい。また、実質化された人・農地プランを広く地域住民へ周知されたい。

## 4 熊谷ブランドの確立

市内で生産される農産物や加工品について、農地の集積・集約による省力化の推進とともに、その付加価値を高める特産化、ブランド化も重要な課題である。売れる商品、魅せる商品づくりに向けた対策について検討されたい。

# 台風第19号の被害に対し大型の補正予算



堆積した稲わら

10月13日に来襲した台風第19号は全国各地に甚大な被害を及ぼしました。熊谷市においても、全域で稲わらが流れされ、稲刈りが済んでいない田に堆



川にもっていかれた農地

積し、その後の農作業に大きな影響を与えました。また、特に荒川河川敷の圃場では農地と道路の区別がつかないほどに土砂が堆積し、巨木が農地の真ん中に流れついてしまったり、流れの勢いで農地が流失してしまった箇所すらありました。

このような被害に対し、熊谷市は12月補正で市道に堆積した土砂の撤去など、補修費の補正予算を計上し、今後順次対応をしていきます。



流れた巨木

★上農は草を見ずして草を取る

# 優良農家表彰

今年の表彰式では4名が表彰されましたので紹介します。

(敬称略・順不同)

## 12月23日優良農家表彰式が行われました。



大久保 忠志  
津田 部門 主穀

大里用水中曾根パイプライン組合長  
くまがや農業協同組合アグリユース本部役員  
くまがや農業協同組合南部露地組合大里吉見地区長  
認定農業者

主食用米約25haのほか飼料用米約10haを4名の従業員と共に生産する。農業技術検定3級を有し、コシヒカリは県認証の特別栽培米となっている。津田地区農地中間管理事業では地域の取りまとめ役として活躍されている。



小沼 悟  
下増田 部門 主穀

妻沼西南土地改良区総代理元くまがや農業協同組合アグリユース会長  
認定農業者

会社員から転職し、両親の指導の下、農業経営を習得する。米麦では麦わら稲わらすきこみなど土づくりからの生産を行うほか、多品種作付けを行い作業時期の分散化を図る。下増田地区ほ場整備に協力するとともに地域の農地を引受け遊休農地発生防止に寄与されている。



松本 丈  
大麻生 部門 主穀

前熊谷市農業委員会会長  
元熊谷市農業委員  
大麻生営農組合組合長  
認定農業者

熊谷市農業委員を平成18年から31年までの12年にわたり務めるとともに組織改正前の最後の熊谷市農業委員会会長として新たな農業委員会の方向を示す。農業生産においては主穀を中心に、栽培講習会等にも積極的参加し適切な施肥、防除を行う。大麻生営農組合組合長として表作に貢献する。



木部 富次  
籠原南 部門 主穀

農業委員(平成24年)埼玉県農業共済組合支部長  
埼玉県農業共済組合損害評価委員  
認定農業者

家族経営で米麦を中心に生産販売を行う。米麦の二毛作を効率的に進めるため農業用機械を合理的に使い大規模作付けを行う。耕作放棄地への対策、対応にも率先して取り組み地域農地の保全に尽力されている。後継不足の中、地域と連携して担い手の育成に力を注いでいる。

## 第15回 熊谷市産業祭



「第15回熊谷市産業祭」が11月16日(土)、17日(日)に、熊谷スポーツ文化公園で開催されました。昨年に引き続き「全国ご当地うどんサミット2019 in 熊谷」と同時に行われました。両日とも天気にも恵まれ、例年より多い14万人の方が来場されました。また、今年も農産物共進会が開催され、多数の農産物が出品、審査されました。

共進会の一等に選ばれた皆さんは次のとおりです。おめでとうございます。

# 令和2年度申告

## 事業所得申告相談会のご案内

確定申告や市民税・県民税申告の前に、令和元年(平成31年)分の農業の収入や必要経費の計算方法、まとめ方がご自身ではわからない方を対象に下記のとおり相談会を開催します。

### 開催日

令和2年2月  
5日(水)  
6日(木) } 3日間  
7日(金)

### 会場

熊谷市役所1階  
北ホール特設会場

### 受付時間

午前9時～11時半  
午後1時～3時

### お持ちいただくもの

- ① 印鑑
- ② 本人確認書類  
(運転免許証または健康保険証等)
- ③ マイナンバー確認書類  
(マイナンバーカード  
または通知カード等)

また、お問い合わせ先 市民税課  
048-524-1111  
内線246・247

★そろそろ申告の準備始めないと!!

### ④ 事業(営業・農業・不動産)の収入や必要経費が確認できるもの

減価償却資産がある場合には、取得金額・取得年月が確認できるもの

### ⑥ その他 給与・年金 源泉徴収票等の所得がわかるもの(該当者のみ)

⑦ 社会保険料(国民健康保険・国民年金・介護保険等)の領収書

### ⑧ 生命保険料・地震保険料の控除証明書

※④～⑧は令和元年(平成31年)中のものをご持参ください。

### ※ご自身で収支計算できる場合や、税理士等に依頼される場合には参加は不要です。

※青色申告の方は熊谷税務署(048-521-2905)にご相談ください。

### お問い合わせ先 市民税課

048-524-1111  
内線246・247

## 2020年農林業センサスにご協力ください

令和2年2月1日を基準日として全国一斉に農林業の国勢調査といわれる「2020年農林業センサス」が実施されます。5年ごとに実施されるこの調査は、日本の農林業の実態を明らかにし、今後の農林業の政策に役立てることを目的としており、全国の農家・林家などの農林業経営体を対象としています。

1月下旬に農林業を営んでいる皆様のご協力をお願いいたします。調査員証を携帯した調査員が伺いますので、ご協力をお願いいたします。

力をお願いします。

なお、この調査は、統計法に基づく基幹統計調査として実施されますので、調査内容は、統計以外の目的に使用されることはありません。また、調査員には調査で知り得た秘密を他に漏らすことは法律で固く禁じられているほか、調査票についても厳重に管理いたしますので、ご安心ください。

### お問い合わせ先 庶務課

048-524-1111  
内線224

## パトロール結果

### 市の荒廃農地は102ha! 昨年から微減

農業委員会では、8月から9月にかけて、農業委員と農地利用最適化推進委員が協力し、市内全域の農地パトロールを実施しました。

平成30年 105.2ha 令和元年 102.0ha  
※昨年から3.2ha減

これは、荒廃農地が新たに発生する中でも、多くの荒廃農地が解消された結果です。

### ★保全管理農地の増加

荒廃の判定まではされなくても、何も作付けせず、年に数回程度の耕耘しか行わない保全管理のみの農地が非常に多くなっています。

### ★解消費用が倍以上

このような農地は、所有者の病気などで管理が行き届かなくなった途端に荒れてしまいます。そのまま1年経過すると解消するのに倍以上の費用がかかってしまいます。

耕作ができない農地は担い手に貸し出すこともご検討ください。

## 《表彰者一覧》

(順不同・敬称略)

- 玄米 堀口健一(成宮)
- 玄米 小貝久子(吉見)
- 玄米 新島一英(大幡)
- 麦類 高澤 剛(長井)
- 麦類 丸岡伴七(別府)
- 大豆 中村八重子(三尻)
- 大豆 新井テル代(妻沼西)
- ごま 新井テル代(妻沼西)
- 大和芋 高橋富司夫(妻沼西)
- 大和芋 遠藤ファーム(妻沼西)
- 里芋 小林久次(妻沼西)
- ねぎ 吉川勝則(秦)
- ねぎ 赤石正樹(妻沼西)
- 白菜 青木登喜代(長井)
- ブロッコリー 鶴川哲哉(吉岡)
- 大根 榎原みつ枝(山王)
- キャベツ 関ダリーンファーム(江南)
- きゅうり 荻原正裕(妻沼西)
- ほうれんそう 清水七夫(秦)
- ごぼう 遠藤隆男(妻沼西)
- 野菜類その他 小澤清(佐久良)
- 果実 松崎伸二(山王)
- 果実 吉野みつ江(中条)
- 味噌 戸井田松枝(長井)
- 味噌 吉田美代子(江南)
- ほ場(にんじん) 筑井 誠(秦)
- ほ場(ねぎ) 大島 正(秦)
- ほ場(大和芋) 萩原昭雄(妻沼西)



「じぶんちの田んぼや畑がどこにあるのか、わからない」、  
 こんな声にお応えして、新たに、

- ① 所有する農地を一覧表にした 農地台帳
- ② 農地の場所を大まかに示す 農地の位置図(市街化農地を除く)

の交付をはじめます。お宅の農地をしっかりと把握、適正な管理や貸し借りにご活用ください。

**【手続き】**

交付の場所：熊谷市農業委員会事務局（妻沼庁舎内）  
 交付対象者：市内に田畑を所有する本人、同一世帯の方、委任状をお持ちの方  
 （保険証、免許証など本人確認書類をご持参ください）  
 交付手数料：① 農地台帳の写し 1通 200円  
 ② 農地の位置図の写し A3版カラー1枚300円、1枚増すごとに100円  
 留意点：位置図は農地の配置を示す、大まかな参考図です。境界の特定や求積の資料ではなく、  
 法的な証明力はありません。航空写真、分筆等の情報は最新のものではありません。

★じぶんちの農地どこかわかる？

かつて、先人たちは「共同」して農業・農村を守り、育ててきました。地域を守るため、令和の時代も、引き継ぐべき、農家の「たしなみ」があります。

**農家のたしなみ**

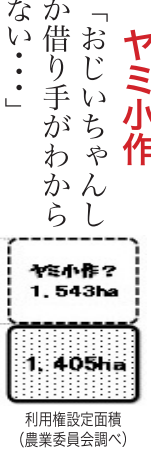
- 「自分の農地の場所はしっかり把握し、管理に努めるべし」
- 「貸付けた後も、地域の一員であることを認識すべし」
- 「遠くの農地だからと言って管理しないのは言語道断  
自分ができないなら、だれかに管理を頼むべし」
- 「相続登記は必ずすべし」
- 「貸借は、農業委員会を通すべし」

**★荒廃農地が増える要因**

- ・総農家数は10年前より25%減
- ・平均年齢は70歳
- ・土地持ち非農家が増加
- ・荒廃農地102ha
- ・毎年100件以上の草の苦情

大規模な農家からは「これ以上は請けられない」との声も上がっています。

**★農地の貸し借りの半分がヤミ小作**



「おじいちゃんしか借り手がわからない...」  
 そんなことにならないために、農地の貸借は必ず農業委員会を通してください。

**★市内の土地の約4割は農地**

- ・田畑は、食糧の生産基盤
- ・環境を整え、水害を緩和する機能も
- ・農村の共同作業は、文化を育み、地域コミュニティの絆。

**★地元を守る多面的活動**

熊谷市では農地の有する多面的機能の保全や地域の農業環境の保全活動を支援しています。  
 ・活動組織は42箇所  
 ・それぞれの施設の点検等を行い、活動の実施箇所を決定、きめ細かい取り組みをしています。  
**活動は大きく2つ**

- ① 維持活動  
農地周りの草刈りや堀さらい
- ② 共同活動  
施設の補修  
休耕地を活用した植栽など



図1 貸借面積の差

生活の近くに広がる美しい田畑を守り、次代へつなぎましょう。

# 農業経営継承のすゝめ

地域の農業を支える農業従事者は年々高齢化し、今後一層の減少が見込まれることから、個人の事業継続や地域農業の持続性に支障をきたす可能性があります。

「農業に従事していた親が突然亡くなった」

「地域の農地をたくさん借りていた経営者が突然病気で動けなくなった」

実際このような事例が起こっており、そうなる前に次の担い手へ農業経営の継承をする必要があります。

「まだ先のことだから」と漠然と考えがちですが、経営継承には様々な継承する事柄があるので、時間をかけた入念な準備が欠かせません。

この機会に経営継承について考えてみましょう。家族や法人の中でしっかりと話し合いを行い、計画的に経営継承を行いましょ

★俺の代のこちはやめなけい...は禁句！

## 1 経営継承の類型と特徴

### ● 親族内継承

親族に継承することです。親族内や地域から受け入れられやすく、スムーズな継承がしやすいです。近年は後継者候補が他産業から就農するケースが多く、年齢も経過しているケースが多いため、一定時間の経験をさせたら、継承に移行しましょう。後継者候補が親族内で確保できない場合は、第三者に継承することも検討しましょう。

### ● 親族外継承

非親族で、法人の従業員や従業員以外の第三者に継承することです。継承者は経営者から経営資源を引き継ぐので、事業開始の投資は少なく済み、有効な方法といえます。親族内継承と比べて心情的に受け入れられない場合もありますので十分な話し合いが必要です。親族内継承も同様ですが、継承後も関係者による十分なサポートが必要で

## 2 経営継承の流れ

### 準備段階

- 経営の現状把握
  - ・有形資産(農地、施設、機械等)の把握
  - ・無形資産(経営理念、権利、技術、顧客等)の把握
- 経営継承計画をつくる
 

5年、10年先の事業全般の計画をつくり、その中で経営継承に係る計画を位置づけましょう。
- 法人設立(必要に応じて)
 

後継者の確保を目的として法人をつくり、法人の従業員として育成する方法もあります。

経営継承計画を作る際には下記URLを参考にしてください。  
農水省HP [http://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/](http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/)

### 実行段階

- 後継者の選定
 

後継者候補がいる場合は能力や適性を見極めた上で継承の意思を確認しましょう。
- 後継者の育成
 

農家の場合、生産技術だけでなく、営業、経理、労務等、組織運営全般に関わる人が多いので、習得に時間がかかります。複数年の計画を立てて育成しましょう。
- 経営権と資産の移行
 

後継者候補に経営を任せられる段階になったら、経営権と資産を移行しましょう。

## 3 後継者候補の選定について

近年、地域内だけでは担い手候補者が不足しており、従業員を募集するような感覚で外部人材も検討する必要があります。一般の求人広告や「新農業人フェア」等のイベント出展及び左記の機関等を活用した求人情報の発信も検討してみましょう。

● 埼玉県農業大学校

☎ 04815016845

● 埼玉県農林公社

☎ 048155910551

## 4 おわりに

経営継承は、継承に向けて一歩踏み出すことが大切です。

当事者同士でなかなか話が進まない場合は、第三者を入れて話し合うこともお勧めします。経営継承に関して疑問がありましたら左記へお問い合わせください。

● 問い合わせ先

大里農林振興センター

農業支援部

☎ 048152612210



このコーナーは、農業委員・推進委員が農業に関することを自由に述べるコーナーです。



坂本 三郎 (北部第1地区)

「水分補給の大切さ」

「今日はおかしい。だるいし、体が重く汗が多い」平成18年の冬、加須のハーフマラソンを走っている時の感覚です。途中で、5・6回足が止まって歩きもしましたが2時間も弱でゴールできました。でも、友達に「加須のう

どんを食べに行こう」と誘われ、「ああ行きましよう」と言ったつもりが声が出ていない。帽子をかぶろうとして右手で持ったつもりがかぶれない。何度かしてようやく左手でかぶれました。

右手が利かない、声も出ない。はつと気が付いた「脳梗塞」だ。すぐに手持ちの水をいつきに飲みほし、じつとすること2・3分、ようやく声が出ました。

翌日、勤め先でその出来事を話したら、受診したほうが良いといわれ、週末に脳外科へ、即、2週間の検査入院MRIの結果は「脳の血管の写りが悪い、他の箇所を血管を取ってバイパス手術しましょう」とのこと。

手術なんて！ですよ。不安でいっぱいになり、友達に相談してセカンドオピニオンを受けました。診断の結果は同じでしたが、「このまま様子を見ましょう」とのこと。あれから13年、あの時手術をしていたらどうなっていたのか。会社を退職し、毎日農

業に携わる日々の中で作業中にも水分摂取のため500mlのボトルは忘れません。皆さんも気を付けてください。

「小さな声を聴く力」



関口 弥生 (西部第1地区)

平成30年9月、私の西部第1地区の農業委員としての活動が始まりました。非農家の私にできることは何かと考え、現場で働く農家の皆さんの声を聴くことが一番と気付きました。まずは、事務局が用意した活動グッズ(帽子、ベスト、名刺、名札)を身に付け、私が農業委員であることを地域の皆さんに知ってもらうために地域を回りました。「なにかお困り事があつたら気軽に話してくださいね」と声をかけると「農地の管理ができなくなり困っている」、「隣の農地の雑草を何とかしてほしい」、「今持っている田んぼを手放したい」、「後継者がいない等」、いろいろな声が聞こえてきました。農地のことをどこに相談したらいいのか分からず、そのまま荒廃農地にしてしまうことは避けなければなりません。情報発信していくことが重要でした。そこで私は中嶋推進委員と相談し、今年に担当する地域に独自でチラシを作り配布したり、地域の方が目に付くところにチラシを貼りだしたりと工夫をしました。また、事務局から各委員に配布された「のぼり旗」を公民館に掲げさせていただきました。このような活動が功を奏し、荒廃農地が解消という事例もできました。一緒にこの地域を担当している中嶋推進委員さんとは常に連携を取りながら解決策を考え、共に行動しています。これからも農家の皆さんに寄り添い『小さな声を聴く力』を身につけていたいと思います。

編集後記

あけましておめでとうございませう。昨年は農業に限らず、語りつくせないほどの災害が襲った一年でした。一年を通じて雨が多く、特に7月は長雨でトラクターが田に入れない日々が続きました。そして、秋の台風第15・19号の襲来は予想だにしない甚大な被害となりました。

今更ながら、被災地の皆さんの苦しみを思いますと胸が痛みます。令和の新しい年が、穏やかで、皆が健康で過ごせる一年でありますように祈念します。

(浅井正美委員 記)

【編集委員】

- 委員長 木部 富次
- 副委員長 森田 豊
- 委員 野邊 八雄
- 委員 大島 正
- 委員 新井 進
- 委員 浅井 正美
- 委員 関根 正直
- 委員 栗原 一森
- 委員 木村 進
- 委員 夏目 亮一

この「くまがや農委だより」は、85000部作成し、印刷経費は1部当たり、約16・33円です。